

## 尾碕 眞教授退職記念号に寄せて

尾碕 眞先生は2019年3月愛知学院大学商学部を退職されました。ここに長年のご貢献に感謝し、ご功績を称えるべく、記念号を発刊し、先生に捧げます。

尾碕先生は1969年3月に名城大学商学部を卒業後、同年4月に名城大学大学院商学研究科修士課程に入学されました。1971年3月同課程終了。その後、名古屋大学大学院経済学研究科および名城大学大学院商学研究科修士研究生を経て、1978年4月東亜大学経営学部助手として赴任されました。その後、同大学講師、助教授を経て、1987年4月名古屋女子商科短期大学経営情報科に教授として移籍されました。さらに、1995年4月名城大学都市情報学部教授として移籍され、その後同大学エクステンションセンター長や都市情報学部長などを歴任されました。

2005年4月、尾碕先生は愛知学院大学商学部教授として着任されました。2017年3月まで教授として、その後2019年3月まで客員教授として商学部で勤務されました（大学院商学研究科客員教授は2020年3月まで）。その間、2009年4月から2年間商学部長を務められ、その後流通科学研究所所長、地域連携センター日進地域連携センター長を歴任されました。学部長、研究所長として、教育・研究に関して指導的立場に立たれたことに加え、日進地域連携センター長として大学の社会貢献活動を指揮されたのでした。ご退職の後も顧問として地域連携センター（後に社会連携センター）の運営に尽力されてきました。

尾碕先生の研究領域は幅広く、マーケティング、消費者行動、商業、情報システム、中小企業に関する著書や論文を多数発表されました。先生は商業・流通関連を中心として研究業績を蓄積されていますが、興味を引くのが情報システムに関するものです。経営情報システムや情報リテラシーをテーマにした著書・論文を数多く発表されています。また、商店街のカード事業など実際のシステム構築にも携わって、実務面でも活躍されました。日本商業学会中部部会の研究会で、過去の研究の経緯をお話いただいた時には、IBMで研修を受けたご経験があり、大学の授業出欠管理システムの構築やゲームの開発を手掛けたと述懐されました。

研究の幅広さに対応して、先生の教育の範囲も広く、担当科目はマーケティングや流通に関するものから、経営学、コンピュータ関連のものに渡ります。商学部における主たる担当科目は流通論でした。これに小売経営論、流通情報システム論、情報社会論を加え、流通と情報システム両方を領分とした教育を展開されました。

尾碕先生は学会活動でも功績を残されました。日本産業科学学会、日本商業学会、日本商業施設学会、日本商業教育学会、日本商品学会等で活躍されました。日本商業学会や日本商業施設学会で理事・部会長を務められましたが、日本産業科学学会では会長として当学会をリードされました。また、社会貢献活動として、各地の行政組織・商工会議所・商工会の商業振興に

関する委員を務め、商業振興のアドバイザーとして活躍されました。

商学部における尾碕先生のご活躍について私が強い印象を持っているのは、先生が学部長時代に学部の入試広報活動に改善をもたらしたことです。学部が受験生獲得に苦しんでいた時、先生は入試広報活動にマーケティング発想を導入して改善を図られました。一律の対応を止めて、高校生や高校をセグメント分けして、ターゲティングを行ったうえで、プロモーションの策や学校推薦枠の割り振りを再検討されました。その際には、学生の出身高校を地図上でプロットして、学部の商圏を設定したうえで、学生募集上学部が強い地域と弱い地域を識別して対応を検討することも指揮されました。

尾碕先生ありがとうございました。高いご見識に基づいて、今後とも商学部の発展のために様々なアドバイスをいただければ幸いです。そして、末永くわれわれ後輩の活動を見守っていただきますようお願い申し上げます。

愛知学院大学商学会 会長 青木 均